



キキョウ 桔梗

と き 2026年 6月 4日 (木) 14:00~15:30

訪問先 デイサービスセンターかわさき 米子市両三柳 4543-30
加茂地域包括支援センター

出席者 【委 員】 田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義、三島 峰子

【よなごエリア 中嶋 美花 (デイサービスセンターかわさき 副主任)
景山 克彦 (加茂地域包括支援センター 管理者)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)



YONAGO Area Report



■施設の現況・課題

荒井監事：本日は、1997年7月に開設した「デイサービスセンターかわさき」と「加茂地域包括支援センター」を見学していただきます。中国地方は、本日梅雨入りが発表されました。平年に比べて2日早いようです。はじめに、**デイサービスセンターかわさき**の説明をお願いします。

中嶋副主任：管理者が所用のため、代わって報告をします。要支援から要介護までが対象で、登録定員は



65名、一日の定員は24名まで。平均介護度は2.1で、見守りが必要な人が多く、特浴、リフト、福祉用具の紹介もしています。朝から夕方までの時間帯に入浴、食事、運動をしていただきます。カラオケの機器も備えていますので、体操、レクリエーション、歌などに利用しています。希望があれば、フラワーアレンジメントも実施。季節に応じて花見など、外出も行います。ボランティアも来苑され、ご利用者と一緒に楽しく過ごしていただいています。

景山管理者：米子市上後藤で、後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センターを運営していましたが、昨年11月に分離し、**加茂地域包括支援センター**をこの地に移設しました。米子市は、中学校区ごとに地域包括支援センターを設置する方針で、それに沿った対応です。総合的な相談窓口として位置付けていますので、高齢者の介護相談、介護予防にとどまらず、家庭内で起きる様々問題についても相談を受けています。身寄りのない人や家族が遠方で暮らす人も多く、相談内容も多岐にわたり、行政や専門機関を紹介するなど、多忙な日々を送っています。

三島委員：生活をしていきますと、様々な問題が生じます。地域の**総合的な相談窓口**となっている地域包括支援センターは大変だと思います。相談は、どういうルートが多いですか。

景山管理者：家族が直接相談される場合が多いですが、民生児童委員からの相談も多いです。

福谷委員：私は、民生児童委員をしています。日々、**地域包括支援センターと連携**しています。家庭内で起きている問題は複雑で、対応するには豊富な知識と経験が必要となっています。

田平委員：問題解決する場合、行政や専門機関など、振り分けて紹介しますか。

景山管理者：地域包括支援センターには、多職種の専門家が常駐していますので、まずはセンター内で相談内容を検討したうえで、関係機関と連携を図り解決に向けます。

田平委員：近年は、AIに相談するケースも多くなっているようですね。

景山管理者：問題が複雑になっている場合は、様々な角度から検討が必要です。地域によっても対応が異なりますので、容易ではありません。

田平委員：認知症でも、本人は自覚していないと聞きます。精神科の医師が言うには、タベ何を食べたかではなく、食べたかどうかを問うことにしているそうです。

景山管理者：認知症状も様々です。認知症になっても**住み慣れた地域で住み続けることができるよう**、地域での環境づくりが必要だと考えています。

三島委員：要介護の人も日によって症状が違ふと思います。

田平委員：介護保険制度が始まったのが2000年でした。当時と比較すると随分異なる面が多いと思います。介護認定も年々厳しくなっていると感じています。

荒井監事：デイサービスセンターかわさきは、男性の利用が多いですが、どういう工夫をしていますか。

中嶋副主任：他の施設に比べ男性の利用が多いと思います。男性の場合、囲碁将棋などを好まれ、カラオケで歌うことがとても好きです。希望に合わせたメニューを用意しています。 ②

名越委員：曜日によって利用者の人数が異なるようですが、どうですか。

中嶋副主任：そういう傾向は、確かにあります。木曜日の希望者は、多いです。

三島委員：どこを通じて、利用申し込みをされていますか。

景山管理者：利用にあたっては、事前に無料体験をしていただくようになっています。



■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内外を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

田平委員：デイサービスセンターでは、カラオケ機器を利用して体操をされていました。人員不足の中、職員の負担軽減に繋がっていると思いますが、どうですか。

中嶋副主任：カラオケ機器は、活用の幅が広いですが、テレビから流れる音声が聞き取れない場合がありますので、職員が補助的に声掛けしています。

田平委員：曜日によって利用者が異なるということですが、今日は体操の後は、職員によるゲームをされていました。他にはどのような取り組みをされていますか。

中嶋副主任：カラオケ機器には、いろいろな体操やゲーム、歌などが入っていますので、職員は利用者の希望に合わせてメニューを組合わせて提供しています。歌は皆さんが好きで、盛り上がります。

名越委員：デイサービスセンターは、多くの利用者がありましたが、狭く感じました。ホール内に事務机が置かれていたり、休むためのベッドも置かれています。全体の配置について検討が必要ではないかと思います。

田平委員：旧グループホームかわさきも施設がそのまま残っていますが、再利用が必要だと思います。デイサービスセンターも古くなっていますので、建て替える際には、利用しやすいように検討してください。

三島委員：ふれあいの橋の会で各施設を訪問しますが、どこも**掲示物など工夫**されており、感心しています。ここも玄関にアジサイの花をモチーフにした絵が置いてあり、季節を感じました。

荒井監事：昨年訪問した際には、屋外の誘導看板がありませんでしたが、新設されていました。

景山管理者：今年4月に新しい看板を設置しました。

福谷委員：今日はここに来るのに迷いました。もう一か所**誘導看板**があると便利だと思います。

荒井監事：福谷委員は、民生児童委員をされており、市民の皆さんからの相談があると思いますが、どのような内容が多いですか。

福谷委員：高齢者、障がい者、子育てなど**多くの問題が複層的に絡んでいる**ことがあり、いつも地域包括支援センターに相談しています。区分けして考えるのではなく、一つのチームで考えることが多いように思います。地域包括支援センターに権限を与えてもいいと思います。包括は大変だと思いますが、困った市民のために、よろしくお願いします。

景山管理者：どこに相談してよいか困っている人が多いです。まずは話を聞くだけでもいいと思います。解決に向けた一つのステップとして、窓口を広げておきたいと思います。

福谷委員：地域包括支援センターの設置については、米子市の判断になりますが、後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センターに統合されたと思えば、短期間に分離しましたが、市民が戸惑うことになります。これは、米子市に言うべきだと思いますが・・・。

荒井監事：次回は、**7月2日(木) 11:00～ キスタウンかみごと** です。

④

